

奈良県立医科大学附属病院精神科で臨床実習および臨床研修を受けられた皆様へ  
 当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略  
 します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	医学生・臨床研修医の健康状態と精神疾患に対するスティグマに関する調査			
② 研究期間	学長許可日から2025年3月31日			
③ 対象患者	対象期間に、当教室で臨床実習（医学生）もしくは前期臨床研修（臨床研修医）を受けた方			
④ 対象期間	2011年1月1日から2025年1月31日			
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学精神医学講座			
⑥ 研究責任者	氏名	盛本 翼	所属	奈良県立医科大学精神医学講座
⑦ 使用する試料・情報等	以下の情報をアンケート紙面から得ます。 ① 人口統計学的情報（年齢、性別） ② アンケート調査結果（こころの不調をもつ人への過去と将来の行動に関する日本語版尺度、Link スティグマ尺度日本語版、日本語版SF-36、一般健康調査質問票、精神科作業療法に関する認識アンケート）			
⑧ 研究の概要	<p>精神疾患に対する否定的な態度や偏見を指すスティグマは、精神疾患をもつ患者さんの社会的な孤立や治療の遅延を生むといわれています。医学生や臨床研修医（レジデント）を対象としたスティグマに関する研究では、学生の精神疾患に対する態度が、臨床実習の後に改善するという報告や、全く効果がみられないという報告があります。また、医学生は学年が上がるにつれて、精神障害者に対する差別的な発言が増えたり、自らの精神状態について開示しない傾向があったりするという報告もあります。一般に、自身の精神的健康状態の悪化は、スティグマを悪化させ、援助希求行動（例えば、精神科の受診など）を減少させることが知られています。</p> <p>以上から、医学生や臨床研修医にどのような教育を行うことで、精神疾患に対するスティグマが改善するのか、また、医学生や臨床研修医自身の健康状態がスティグマにどのように影響するのかを解明することによって、医学教育の発展と、医学生や臨床研修医のメンタルヘルスの向上に寄与するのがこの研究の目的です。なお、本研究は本学医の倫理審査委員会による承認、学長による許可を得て実施しております。</p>			

⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2021年11月24日		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。			
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。			
⑫ 個人情報の取扱い	本研究に使用するアンケートによる情報は、すでに匿名化されているため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。			
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学精神医学講座 担当者：盛本 翼			
	電話	0744-22-3051(代表)	FAX	0744-22-4121(代表)